

～ 詩人尹東柱の想いを今につなぐ ～

平和で自由な未来を共に祈りねがいながら！

期 日：2021年10月9日（土） 少雨決行・悪天候中止

時 間：13:30（京阪宇治駅前集合）⇒徒歩

14:10（天ヶ瀬吊り橋）⇒徒歩

15:00（碑の前でお話） 15:30 解散

参加費：500円（資料代・献花代、税込）

主 催：（公財）日本キリスト教婦人矯風会



*写真左 詩人 尹東柱（1917-1945）の最後の写真。1943年初夏、天ヶ瀬吊り橋にて撮影。前列左から2人目が尹東柱。

尹東柱は日本が朝鮮を植民地支配していた時期に中国東北部（旧満州）のクリスチャンの家庭で生まれ幼児洗礼を受けて成長。1941年12月、戦時学生短縮により延禧専門学校（現延世大学）卒業。1942年4月立教大学へ留学、同年10月同志社大学へ転学、翌1943年初夏、同志社大学の学友と共に宇治川ハイキングをしてこの写真を撮影。その後、同年7月、京都下鴨警察署に独立運動容疑で逮捕され、起訴され、治安維持法違反懲役2年を宣告されて福岡刑務所へ送致、1945年2月16日、27歳で獄死した。

写真は1995年3月11日放送の日韓共同制作によるNHKスペシャル「空と風と星と詩－尹東柱・日本統治下の青春と死」が制作される過程でNHKディレクター・多胡吉郎氏（現作家）の取材で学友の女子学生のアルバムから発見される。

*写真右 「詩人尹東柱 記憶と和解の碑」（宇治市志津川仙郷谷地先）。2017年10月28日、市民運動団体「詩人尹東柱記念碑建立委員会」（代表・安齋育郎 2005年発足）によって建立される。

「詩人尹東柱 記憶と和解の碑」建立運動の経過

お話：紺谷 延子さん（詩人尹東柱記念碑建立委員会 事務局長）

紺谷さんたち宇治市民は、尹東柱と宇治をつなぐ天ヶ瀬吊り橋で撮影された一枚の写真に心を惹かれ、治安維持法で犠牲になった尹東柱を記憶し後世に伝えていくための記念碑建立運動を起こしました。呼びかけに応え国籍を越えて集まった多くの人びとが、治安維持法の時代を再びつくりたくないことを共通の思いにして運動を支え苦節12年の活動を実現しました。「詩人尹東柱 記憶と和解の碑」が建つ場所は宇治川の上流、尹東柱が学友に請われてアランを歌った河原近くです。

宇治は治安維持法に反対して暗殺された山本宣治（1889-1929 生物学者、性科学者、衆議院議員、クリスチャン）が暮らしたところであり、宇治川は悪法治安維持法でいのちを奪われた二人のクリスチャン山本宣治と尹東柱が交わる場所です。



2017年10月3日設置直後

※参加申込み：TEL/Fax 又は Email で。締め切り **10月3日（日）まで**

※連絡先：矯風会京都部会（Fax,0773-42-4170 携帯,09039406002）Email (ju-datte20@outlook.jp)

※当日はコロナ感染予防対策にご協力ください